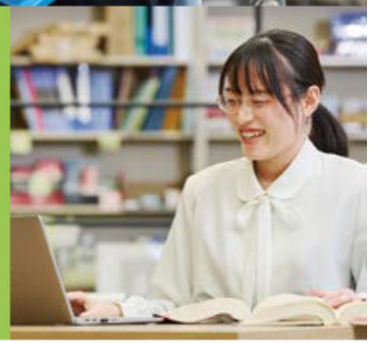












原子力規制委員会
Nuclear Regulation Authority

人と環境をこの手で守る。

原子力規制委員会について

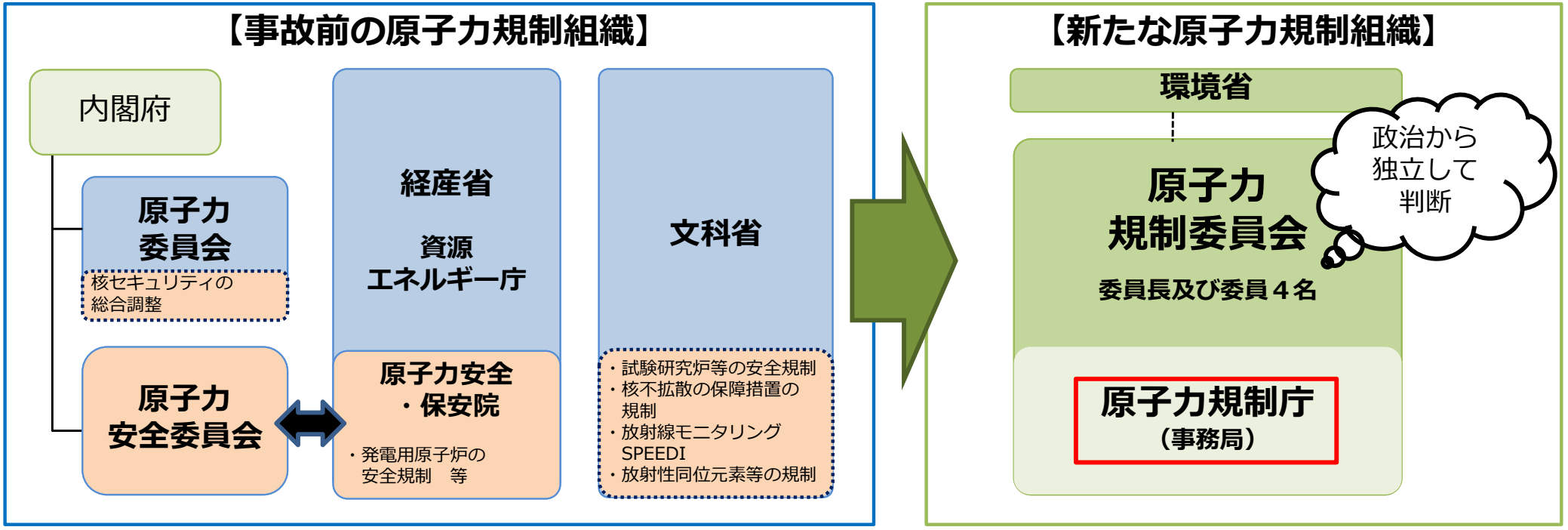
原子力規制委員会のミッション

原子力に対する確かな規制を通じて、人と環境を守ること

2011年3月11日に発生した、東京電力福島第一原子力発電所事故。
その教訓を踏まえ、原子力規制委員会は発足しました。

「二度とあのような事故を起こしてはならない」

この強い決意を胸に、原子力規制委員会は、科学的・技術的根拠に基づき、
日々「安全」を追求しています。



原子力規制委員会の組織

原子力規制委員会
（環境省の外局：政治から独立した委員会）



原子力安全人材育成センター

原子力規制庁
（委員会の**事務局**）

原子力規制部
主に原子力施設の安全に関する規制を担当

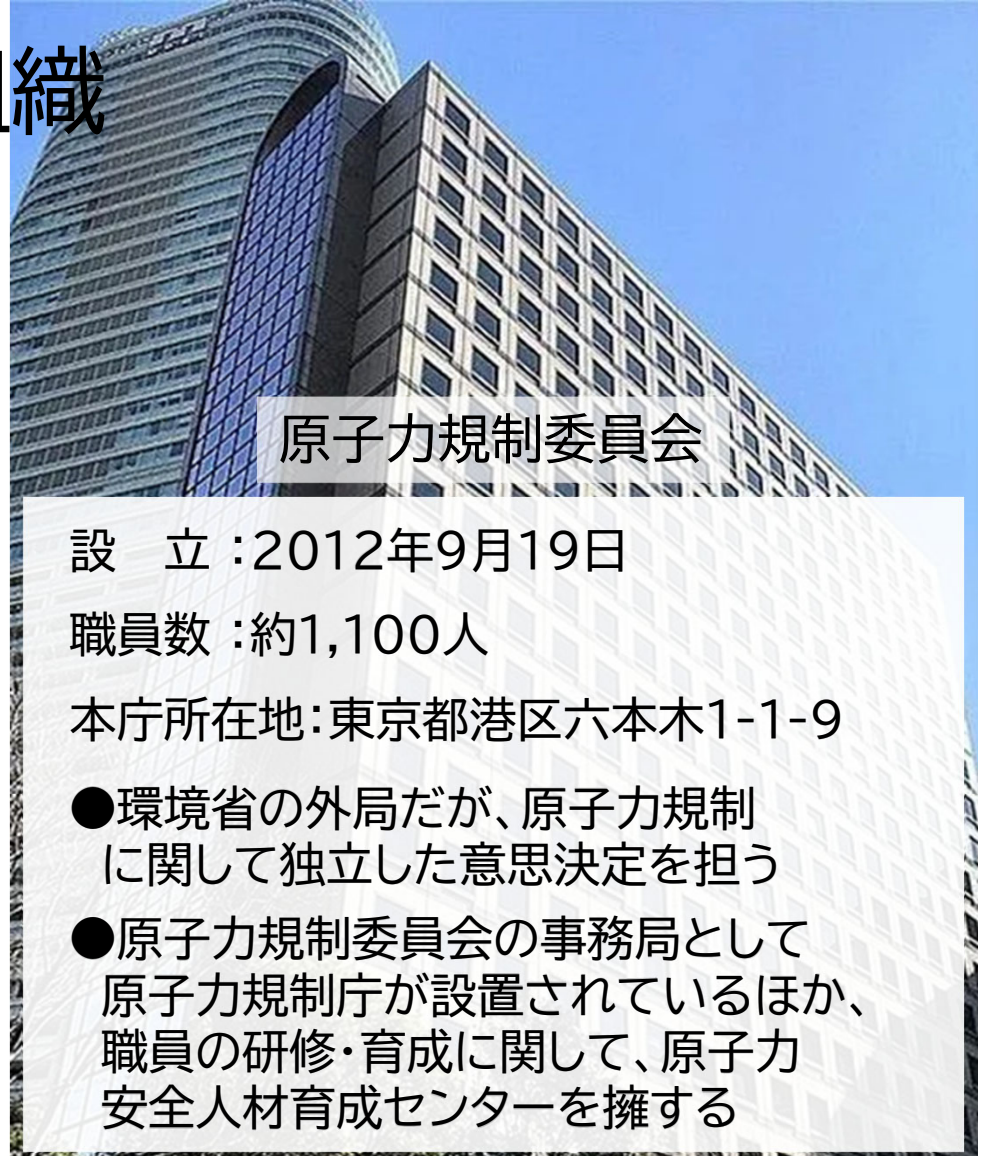
審査G
原子力施設が安全の基準に適合しているか審査を行う

検査G
原子力事業者の保安活動・改善活動に対する監視（原子力規制検査）を行う

長官官房
規制活動・組織を支える バックオフィス業務を担当

技術基盤G
規制に資する知見の収集（安全研究）等を行う

放射線防護G
原子力防災に関する政策、放射線利用・テロ対策・NPT等に関する規制などを行う



設　立：2012年9月19日

職員数：約1,100人

本庁所在地：東京都港区六本木1-1-9

- 環境省の外局だが、原子力規制に関して独立した意思決定を担う
- 原子力規制委員会の事務局として原子力規制庁が設置されているほか、職員の研修・育成に関して、原子力安全人材育成センターを擁する



使命を果たすために（活動原則）

【使命⇒ミッション】
原子力に対する確かな規制を通じて、人と環境を守ること



何ものにもとらわれず、科学的・技術的な見地から、独立して意思決定を行う。

形式主義を排し、現場を重視する姿勢を貫き、真に実効ある規制を追求する。

意思決定のプロセスを含め、規制にかかわる情報の開示を徹底する。また、国内外の多様な意見に耳を傾け、孤立と独善を戒める。

いかなる事態にも、組織的かつ即座に対応する。また、そのための体制を平時から整える。

常に最新の知見に学び、自らを磨くことに努め、倫理観、使命感、誇りを持って職務を遂行する。

原子力規制委員会の業務

「安全」の確保で人と環境を守る

原子力施設※の規制

・安全に関する**規制制度や基準**の策定・見直し

・審査
原子力施設の設計や保安規定が基準に適合しているかの確認（許可・認可）

・検査
原子力事業者の保安活動・改善活動等の監視





※原子力施設とは・・・
発電用原子炉（原子力発電所）のほか、研究開発段階の原子炉、各種原子炉で利用する燃料の加工や再処理に関する施設、廃棄物を埋設・保管する施設など

・東京電力福島第一原子力発電所の廃止措置を安全に進めるための規制（審査・検査）



実施計画の審査



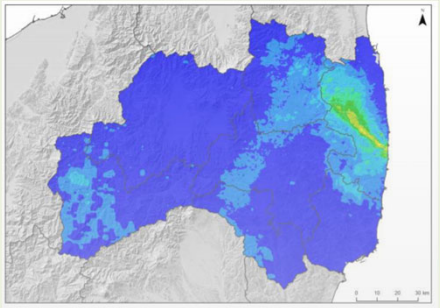
現場での確認（検査）

原子力防災・放射線の監視

・原子力災害対策に関する基本的な考え方（原子力災害対策指針）の策定・継続的改善

・原子力防災に関する各種訓練の実施・参加等

・原子力施設周辺のモニタリングシステムの整備



福島県における
空間放射線量率（2025年）



原子力総合防災訓練
の様子

放射線利用の規制

・放射性同位元素や放射線発生装置の使用等に対する規制（審査・検査）



密封された放射性同位元素



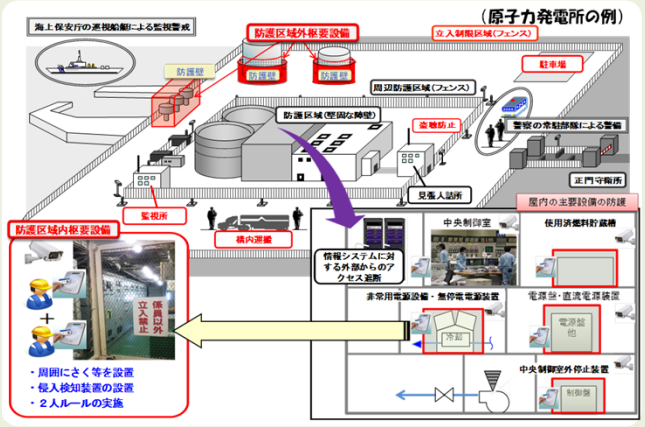
放射線発生装置

原子力規制委員会の業務

セキュリティの観点から規制する

・**テロ等の犯罪行為から核燃料物質を防護**するための規制
（核物質防護規程の審査・防護措置の検査）

・特定放射性同位元素の防護のための規制



「核拡散防止」に取り組む

・核不拡散条約の下、国際原子力機関（IAEA）との国際約束に基づき、
核物質が核兵器などに転用されていないこと
などを確認



規制組織の技術的基盤を構築する

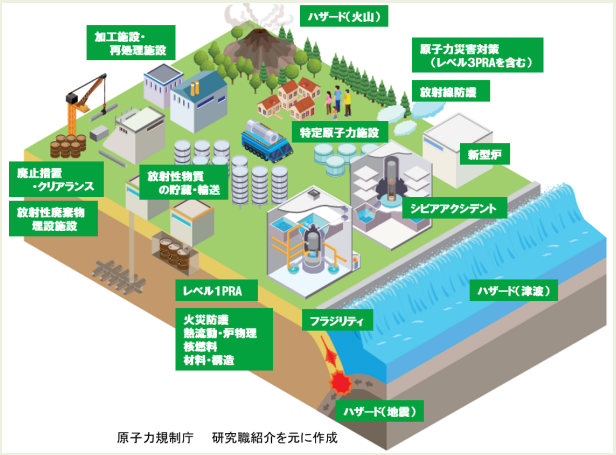
・安全研究の実施

○ 規制基準の整備に必要な知見の収集

○ 審査・検査における科学的・技術的判断に必要な知見の収集・整備

○ 将来的に役立つ知見の創出や高度な専門性を有する人材等の技術基盤の構築・維持

【システム安全、シビアアクシデント、放射線・廃棄物、地震・津波等】



原子力規制庁　研究職紹介を元に作成

原子力規制委員会の業務

規制組織の運営・活動を支える

国際活動

・国際会議への参加　・大使館や国際機関への職員派遣
・海外への意見発信　・海外の知見を国内の規制へ反映

※ 原子力に関する国際機関：国際原子力機関（IAEA）、
経済協力開発機構／原子力機関（OECD／NEA）、
諸外国の原子力規制機関など



主要国の原子力規制トップによる
国際原子力規制者会議



ＩＡＥＡ本部
（ウィーン）

広報・広聴業務

・原子力規制委員会、記者会見、
各種会議のリアルタイム配信
・面談記録、立地自治体との意見
交換等を公開、説明
・大規模地震発生時などには、
原子力施設への影響に関する
情報を迅速に発信



会合の動画配信
（Youtubeチャンネル）

規制を支えるバックオフィス業務

（例）

人事



・職員採用活動
・適性等に応じた配置転換、
キャリア形成支援
・給与額の算定
・ﾜｰｸﾗｲﾌﾊﾞﾗﾝｽ向上の取組
・定期健診、健康相談、
健康管理など

会計

・庁内の予算要求を取りまとめ
て財務省との調整
・物品購入などの予算支出の
確認・審査、支払い手続き
・物品購入やオフィスの管理

法令的な支援・訴訟対応

・法令案の作成、法令や行政処分の事前審査
・許認可処分に対する行政訴訟や東京電力福島
第一原子力発電所事故の国家賠償訴訟への対応
など（裁判所への出廷なども）



原子力規制委員会で働く

原子力規制庁の採用



原子力規制庁



総合職（技）

一般職（技・事）

研究職

国家公務員試験

総合職：技術・教養※
一般職：技術・事務・教養

原子力工学系
職員採用試験

（原子力規制庁独自の採用）

独自の
選考採用

※教養区分の合格者が総合職として採用された場合には、技官としての採用となります

働く環境について

○能力向上のための研修

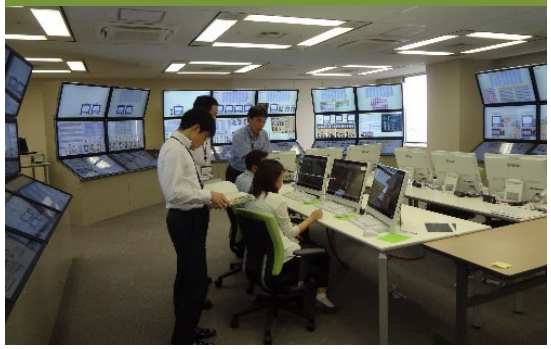
✓ 人材育成や研修の担当機関が、原子力や放射線、行政に関する基礎知識から、規制に求められる高度な専門性まで、必要な能力を一から継続して習得するためのカリキュラムを組んでいます

座学研修



法令から専門知識まで、
様々な座学研修を実施

プラントシミュレータ



原子力発電所の中央制御室を
模擬したシミュレータによる研修

原子力規制事務所研修





原子力施設が立地する地域の規制事務所において
検査等の最前線における業務を見学・体験

国際性向上研修



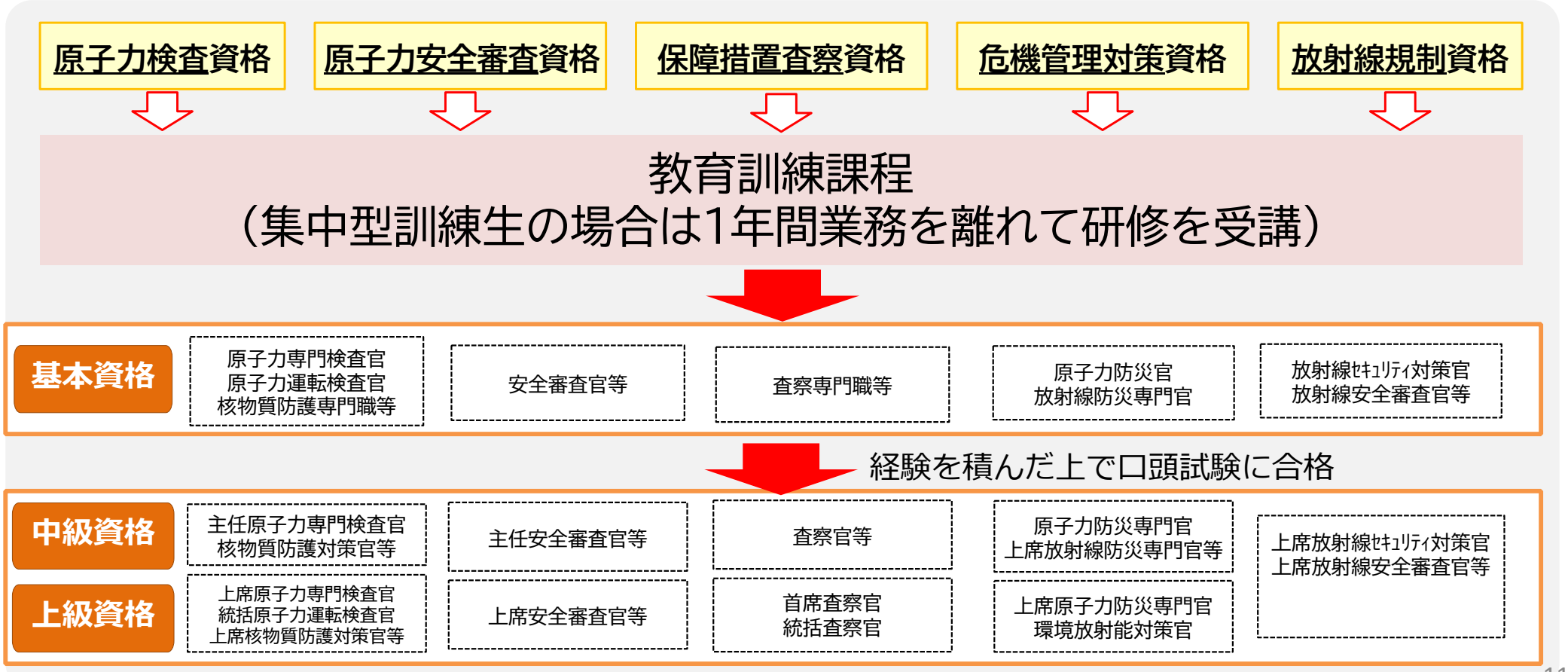
海外の原子力関係機関等へ
の短期派遣研修など

これらの研修以外にも、語学研修、原子力専門職大学院などへの留学や、海外留学や短期海外研修派遣、海外の規制当局への派遣などのプログラムなどがあります。

働く環境について

○能力向上のための研修（任用資格制度）

- ✓ 審査や検査といった業務を担う高度専門職の専門性を確保するため、規制庁独自の「任用資格制度」を運用
- ✓ 審査官・検査官などの高度な専門職に従事するための教育訓練課程・OJTなどの制度が作られ、専門性を選んで高めることができるように



働く環境について

○人と環境を守る職場環境

- ✓「透明で開かれた組織」という活動原則の下、若手であっても声を上げ、積極的に議論に参加できる「風通しの良い環境」を構築
- ✓ 確かな規制を持続できる組織であるため、職員一人ひとりが快適に、自身の能力を最大限発揮して持続的に働ける職場作りを実施

メリハリのある勤務・仕事と家庭の両立

- ✓ 各種休暇（年次休暇、夏季休暇）の取得推奨、残業時間の削減
- ✓ 特に、出産・育児・介護等に係る休暇等の取得を奨励し、仕事と家庭の両立を推進



働く環境について

○人と環境を守る職場環境

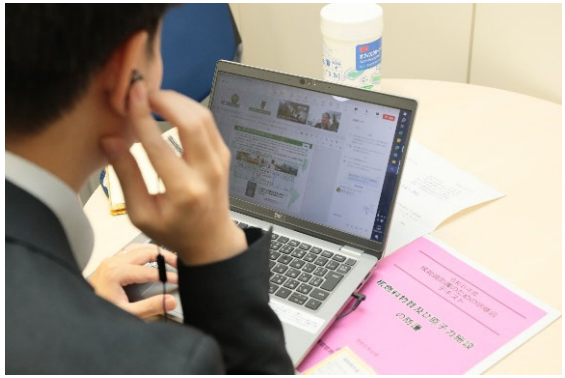
- ✓「透明で開かれた組織」という活動原則の下、若手であっても声を上げ、積極的に議論に参加できる「風通しの良い環境」を構築
- ✓ 確かな規制を持続できる組織であるため、職員一人ひとりが快適に、自身の能力を最大限発揮して持続的に働ける職場作りを実施

多様で柔軟な働き方の実現に向けて

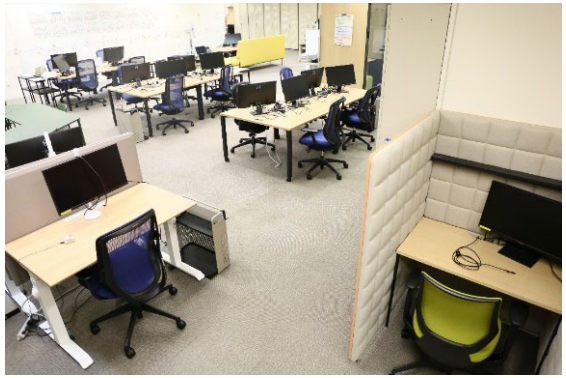
- ✓ 業務特性や家庭の事情に合わせ、勤務時間を多様化
  ⇒ テレワークの実施・フレックスタイム制度の活用など
- ✓ 庁内WGを通じて制度利用の促進や制度が活用できる環境作りを実施



働き方に関する座談会の実施
（相互理解の醸成）



オンライン会議等の推進
（テレワーク環境の改善）



執務環境の改善・向上
（オフィス改革）

原子力規制委員会　採用情報

INFORMATION & EVENTS

新卒採用ページ

職場体験プログラムや業務説明会など
原子力規制委員会をより深掘りいただける
イベント情報を専用HPで公開中です。

マイページ登録で随時情報をお届けします。



◎Pick Upイベント

オンライン個別相談 随時予約受付中！

相談内容に応じて、
しっかりお答えできる職員が
対応します！



申込は採用マイページから！

専用HP＆マイページ登録
はこちらから⇒

RECRUIT INFORMATION

原子力規制委員会の採用情報

- ✓ **人事院国家公務員試験採用**
- ✓ **原子力工学系試験採用**
- ✓ **研究職選考採用**

試験や選考に関する情報は
原子力規制委員会HPにて公開中です。

アクセスはこちらから⇒

YouTube

若手職員による組織紹介



アクセスはこちらから⇒

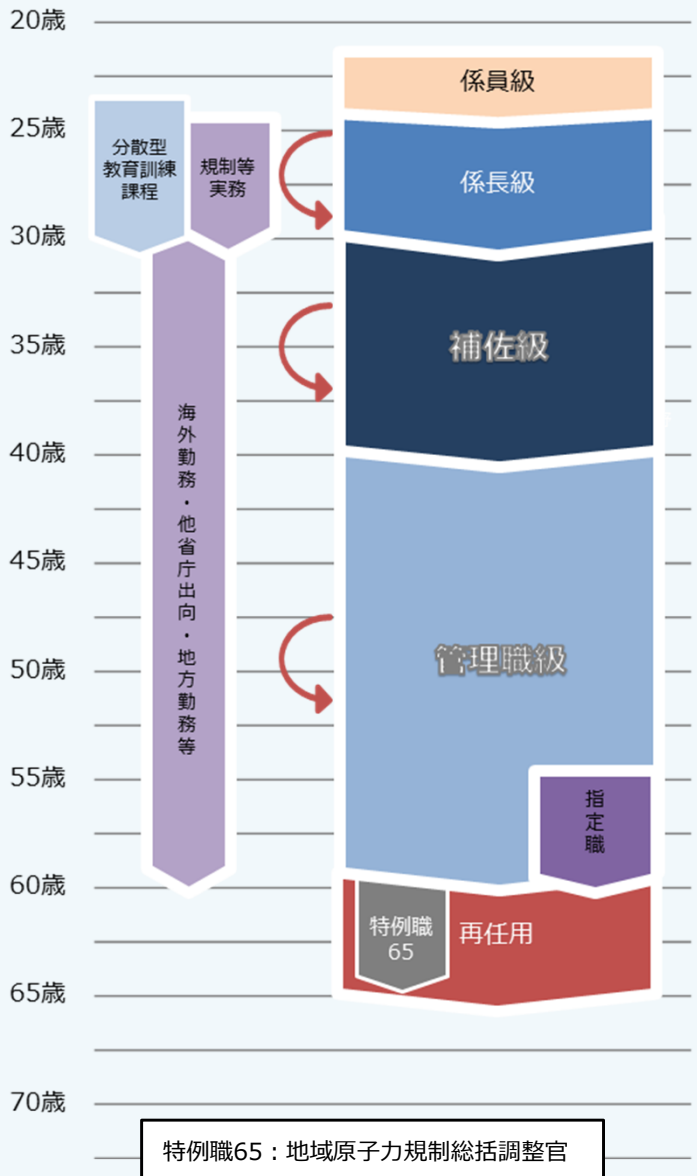
参考

キャリアパスについて

キャリアパスイメージ

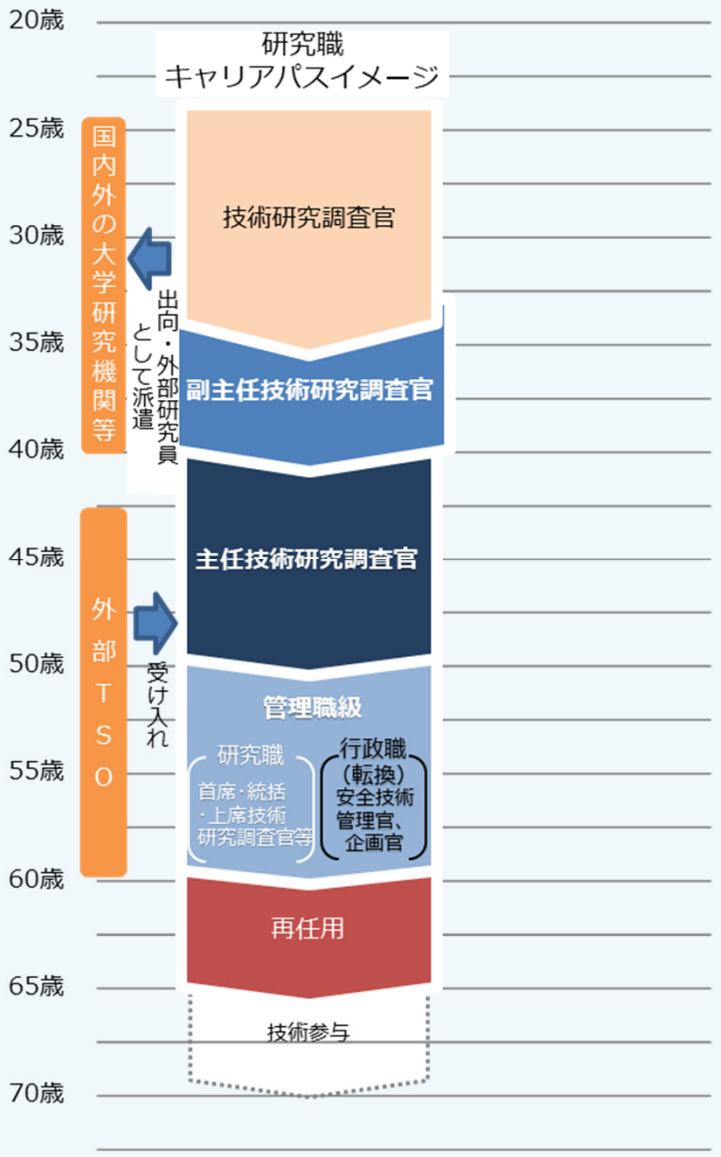
総合職・研究職の例

◆総合職



特例職65：地域原子力規制総括調整官

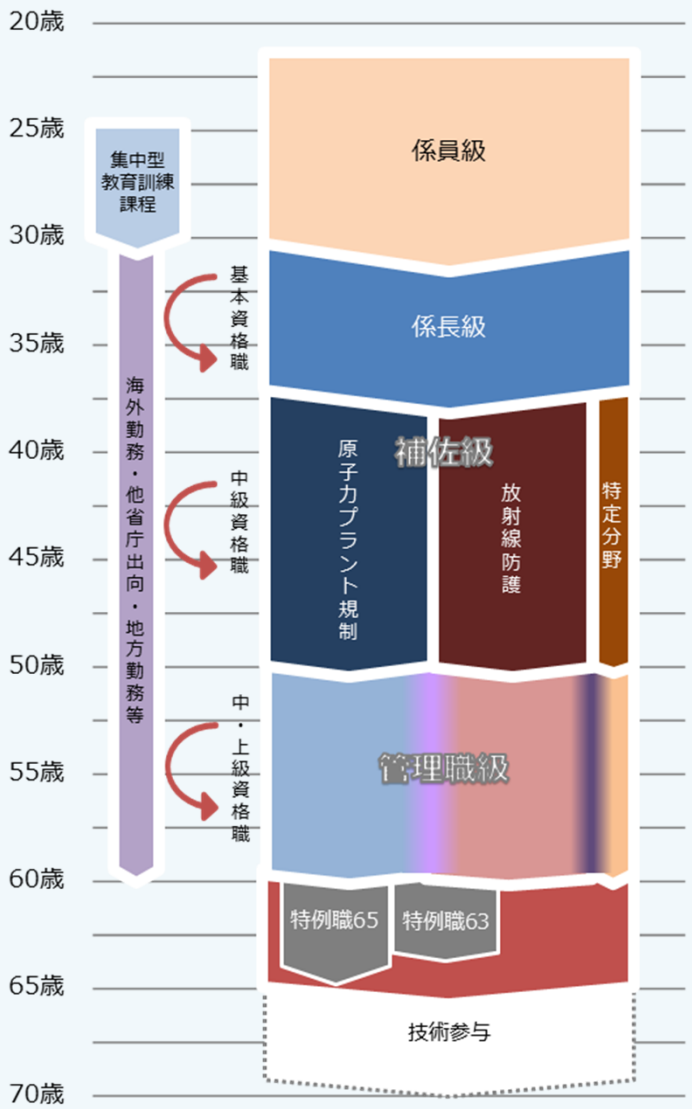
◆研究職



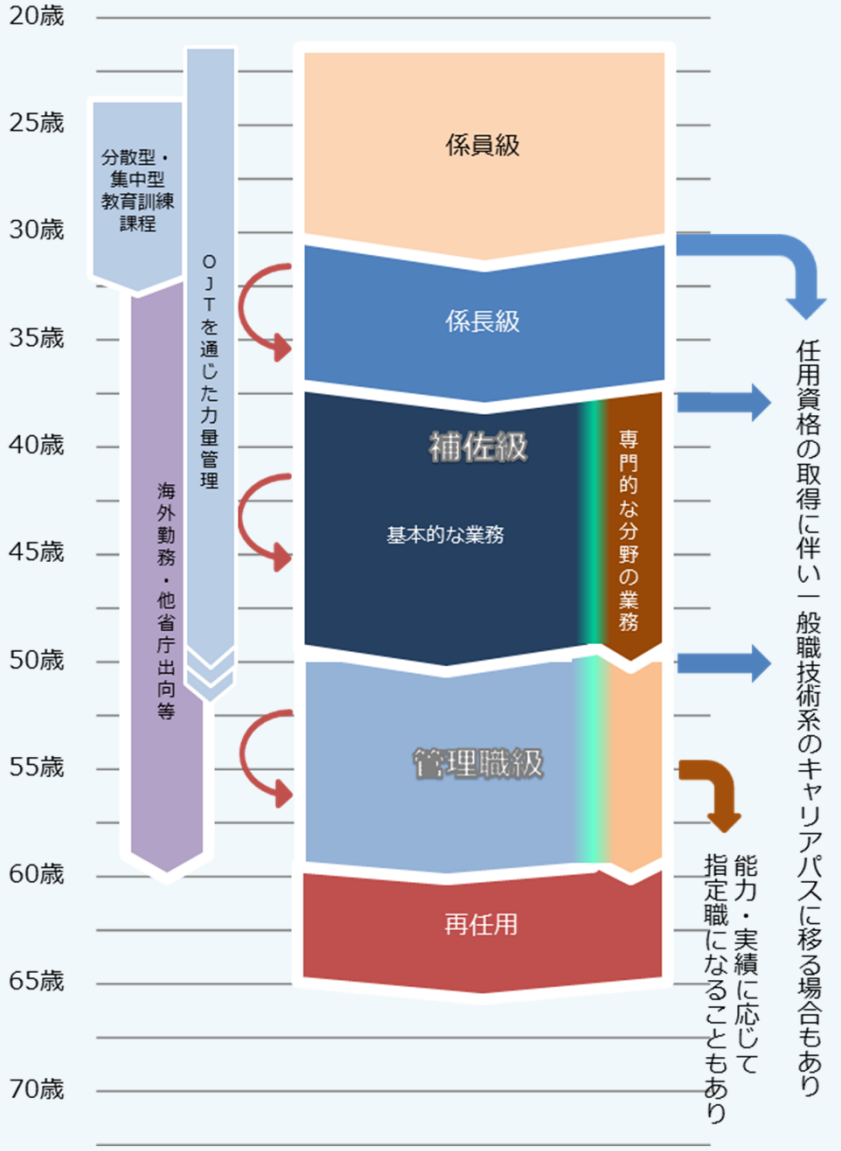
キャリアパスイメージ

一般職の例

◆技術系



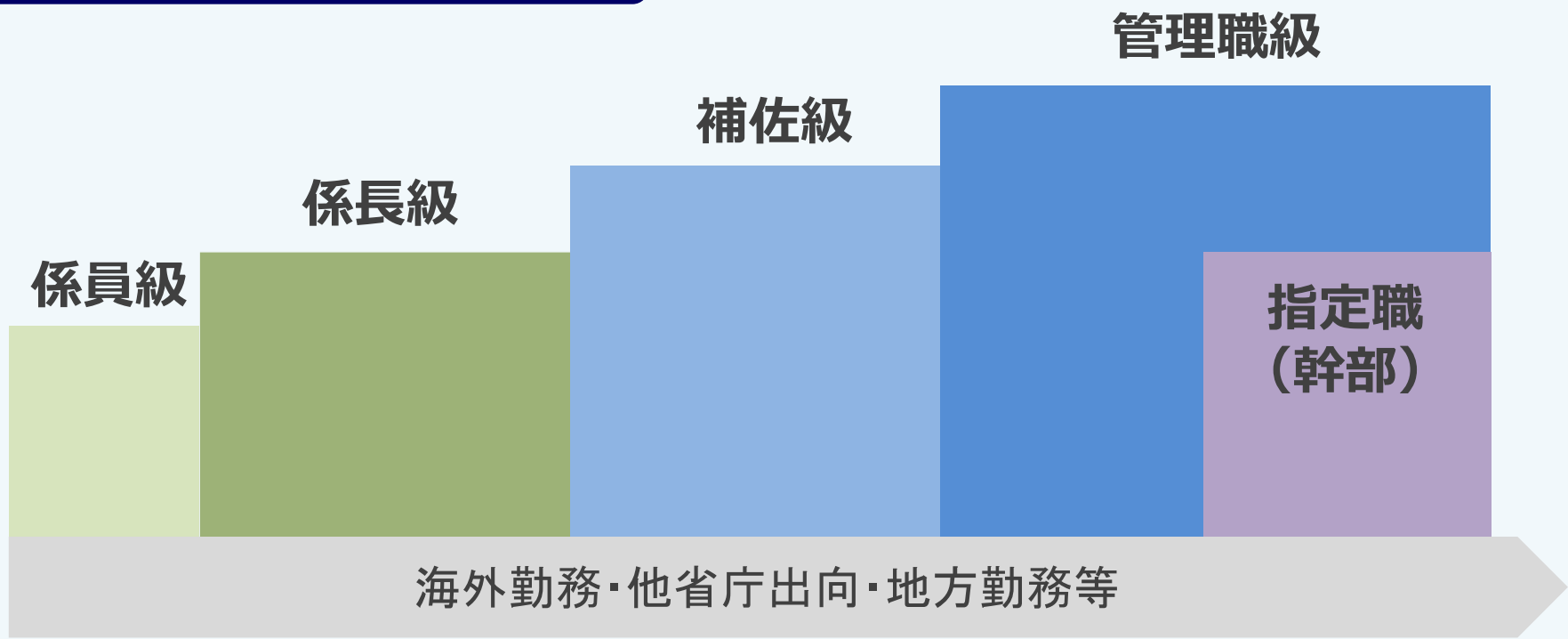
◆事務系



特例職63：原子力防災専門官、主任安全審査官、原子力運転検査官 等
特例職65：地域原子力規制総括調整官、安全規制調整官、上席監視指導官 等

キャリアパスイメージ

総合職・技術系の具体例



Mさんの場合

1-2年目
実用炉審査部門・研究炉等審査部門
・原子力発電所の審査（部署の窓口業務等）
・研究用の原子炉施設等の審査業務
＋制度改正審議室
・規制制度の見直し

3-5年目
防護企画課
・放射線防護に関する企画・立案業務（部署の窓口・とりまとめ業務等）

5-7年目
総務課
原子力規制庁全体の窓口・とりまとめ業務

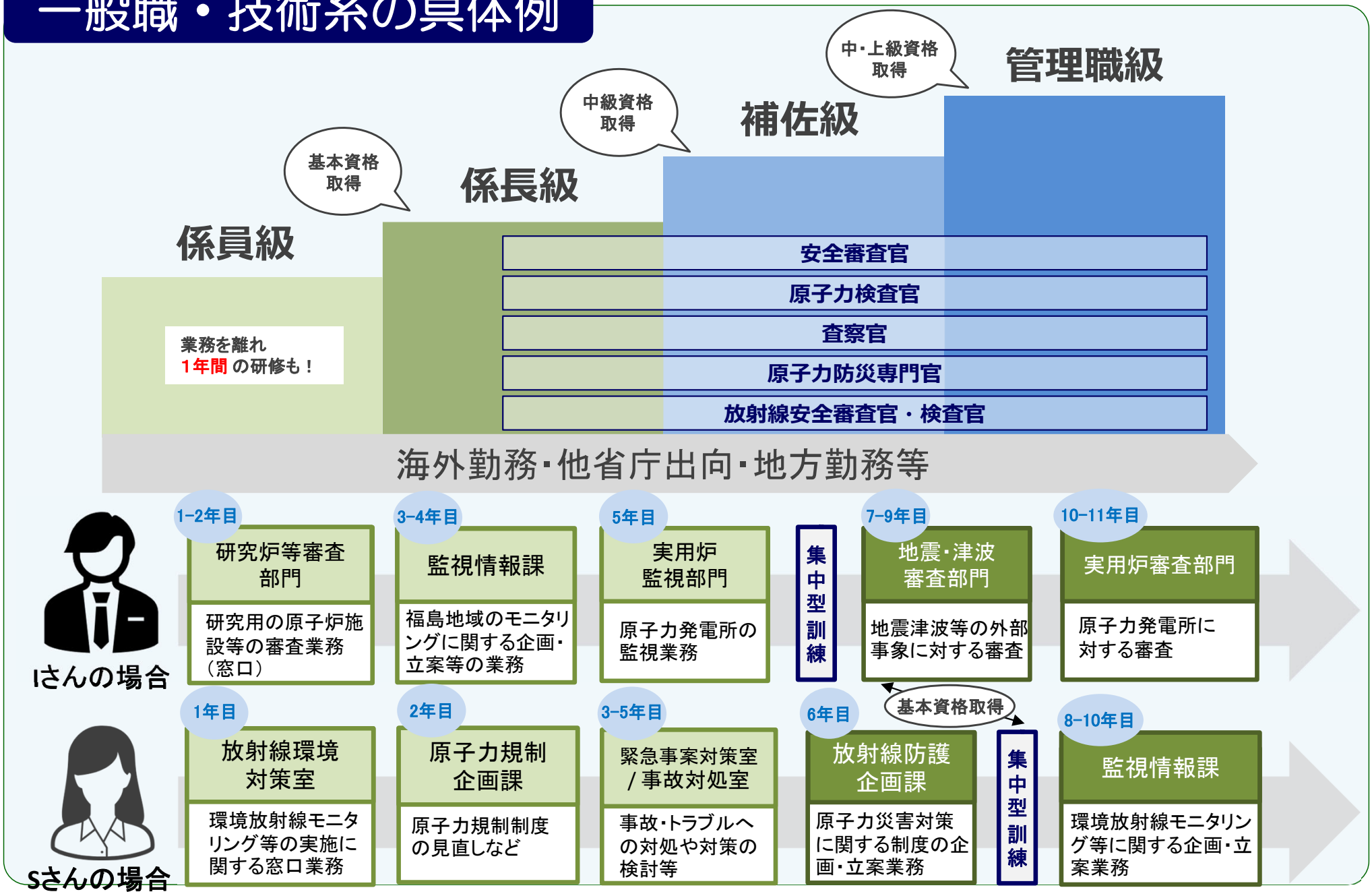
環境省へ出向

9-11年目
福島第一原子力発電所事故対策室
・1Fの廃炉に関する審査
・班のマネジメント

海外へ（国際機関との政府の窓口）

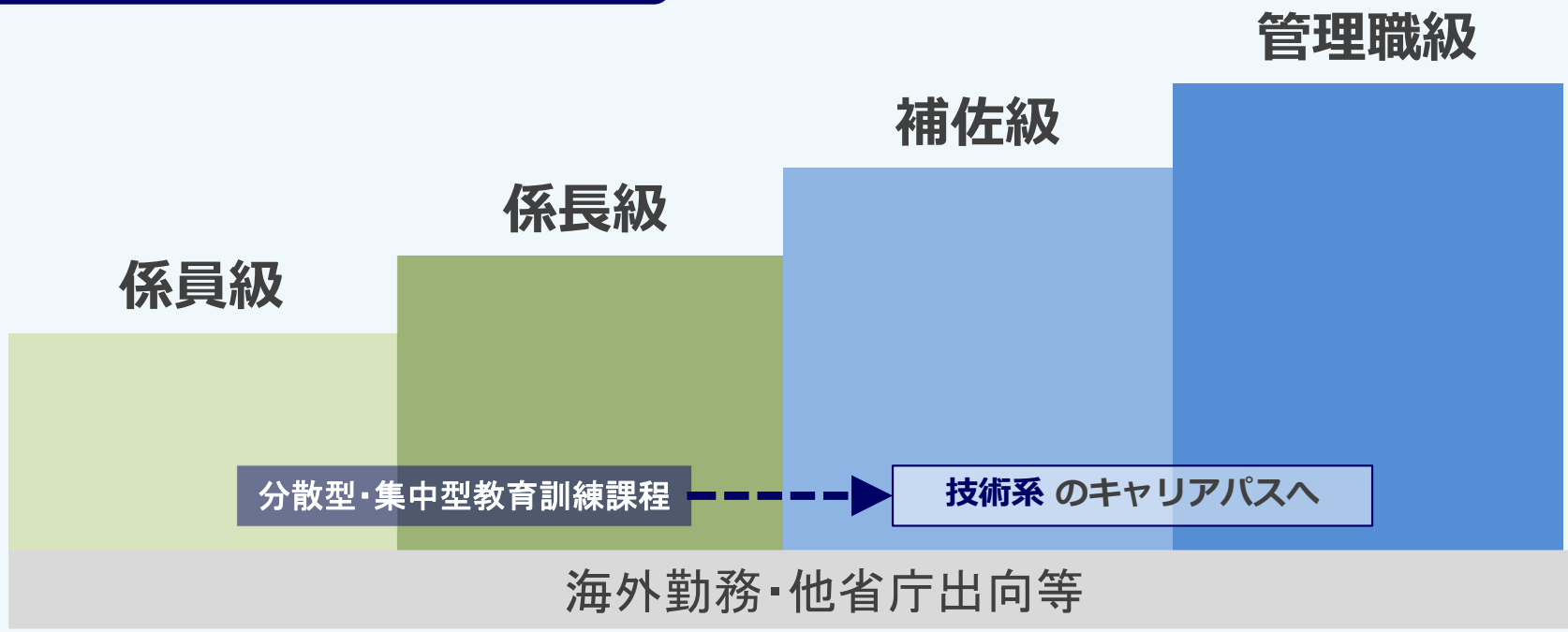
キャリアパスイメージ

一般職・技術系の具体例



キャリアパスイメージ

一般職・事務系の具体例





Sさんの場合

1-4年目
会計部門 / 国際室 / 法令審査室
・職員の給与の計算等に関する業務
・国際室の窓口業務
・法令審査室の窓口業務及び個人情報の保護に関する業務

海外へ
（OECD/NEAで日本の法制度に関する資料の更新などに従事）

7年目
放射線規制部門
放射線規制の制度等に対するIAEA指摘を踏まえた制度等の改善業務

8年目
保障措置部門
核不拡散条約に基づきIAEAが実施する査察への対応等に関する業務



Iさんの場合

1-4年目
法令審査室 / 人事課 / 会計部門
・情報開示請求に係る対応業務
・人事課全体の窓口業務
・庁内予算のとりまとめ業務

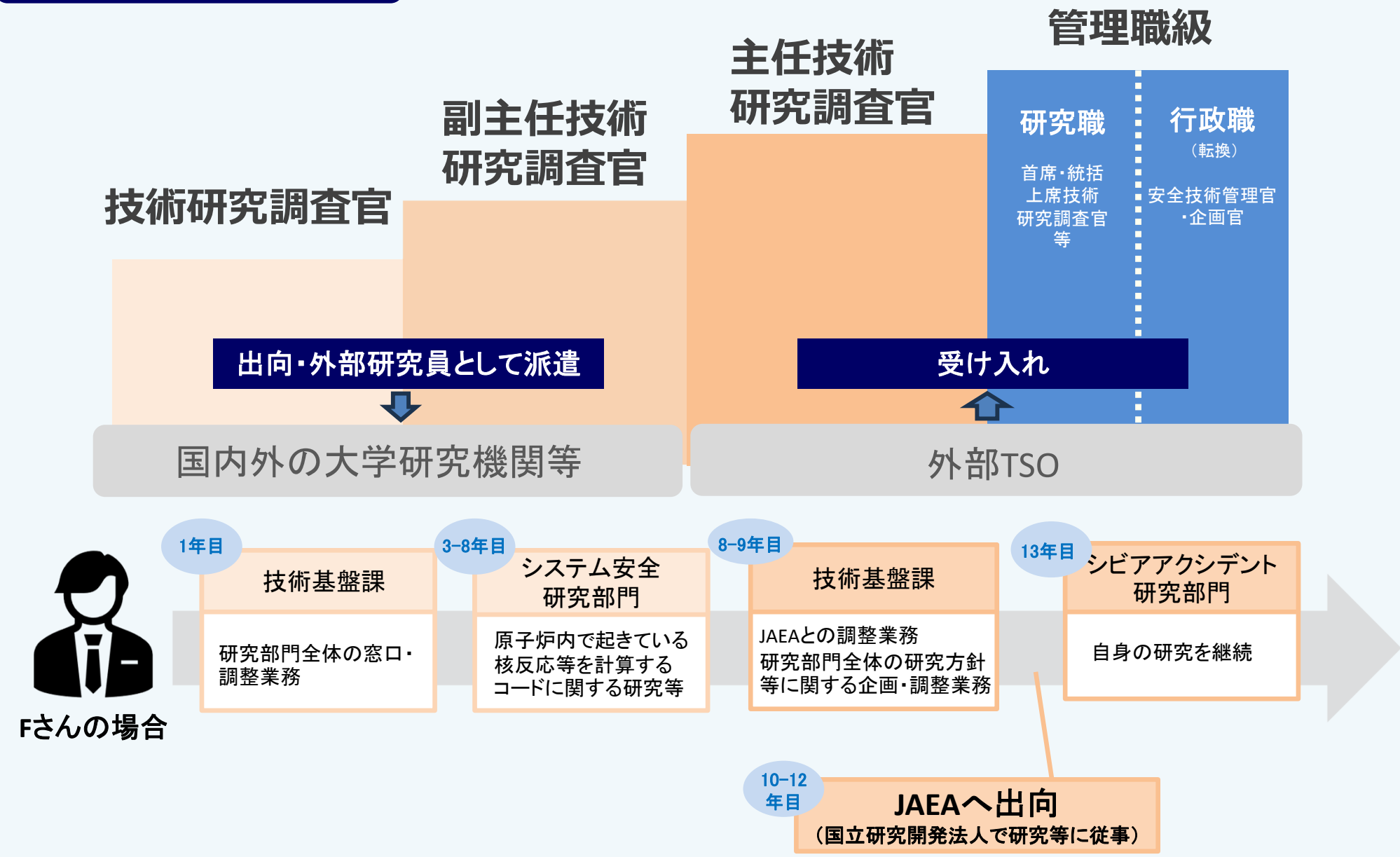
5-6年目
国際室
・国際室の窓口・とりまとめ業務
＋外務省へ出向
・G20大阪サミット運営業務

集中型訓練

8-11年目
実用炉審査部門 高経年化審査部門
原子力発電所に対する審査業務

キャリアパスイメージ

研究職の具体例



国家公務員試験・官庁訪問について

原子力工学系職員採用試験

✓ 人事院が実施する正規の試験に準ずる採用試験として、一般職試験（大卒程度試験）相当の原子力工学系職員採用試験を行っています。

一般職技術系採用職員として処遇

採用スケジュール（令和８年度実績）

＜受付期間＞
２月１９日（木）～５月８日（金）

＜１次試験＞
５月３１日（日）
・東京、京都にて実施

＜２次試験＞
７月上旬　実施

※１　一般職試験（大卒程度試験）と同じ（過去問は人事院HPで公表）。
※２　専門試験の過去問は、原子力規制庁HPで公表。

試験種目・試験方法

１次試験

- 基礎能力試験（多肢選択式）※１

○出題数は３０題
・知能分野２４題
（文章理解⑩、判断推理⑦、数的推理④、資料解釈③）
・知識分野６題
（自然・人文・社会に関する時事、情報⑥）

- 専門試験（記述式）※２

○原子力工学に関する専門的知識についての筆記試験
○出題数５題のうち２題解答

- 専門試験（多肢選択式）※２

○原子力工学に関する専門的知識及び
一般基礎（数学・物理・化学）についての筆記試験
○出題数は４０題

２次試験

- 人物試験（個別面接）

原子力規制庁研究職員（技術研究調査官）採用試験

✓ 原子力規制庁が実施する安全研究に関連する分野を専攻した学生を対象とする独自の採用試験として、原子力規制庁研究職員（技術研究調査官）採用試験を行っています。

研究職員として研究職俸給表を適用

採用スケジュール（令和８年度実績）

＜受付期間＞
３月２日（月）～４月２日（木）

＜１次試験＞
４月１８日（土）
・東京にて実施

＜２次試験・　３次試験＞
５月中下旬　実施

試験種目・試験方法

１次試験

➢ 筆記試験

○一般的な知識及び知能等についての筆記試験（多肢選択式）

○課題に関する理解力等についての論文試験※１

※1　論文試験の過去問は、原子力規制庁HPで公表。

２次試験

➢ 人物試験

応募ポストとご自身の専門分野との適合性の確認を含む人柄・性向等に関する人物試験。

３次試験

➢ 人物試験

人柄・性向等に関する人物試験。

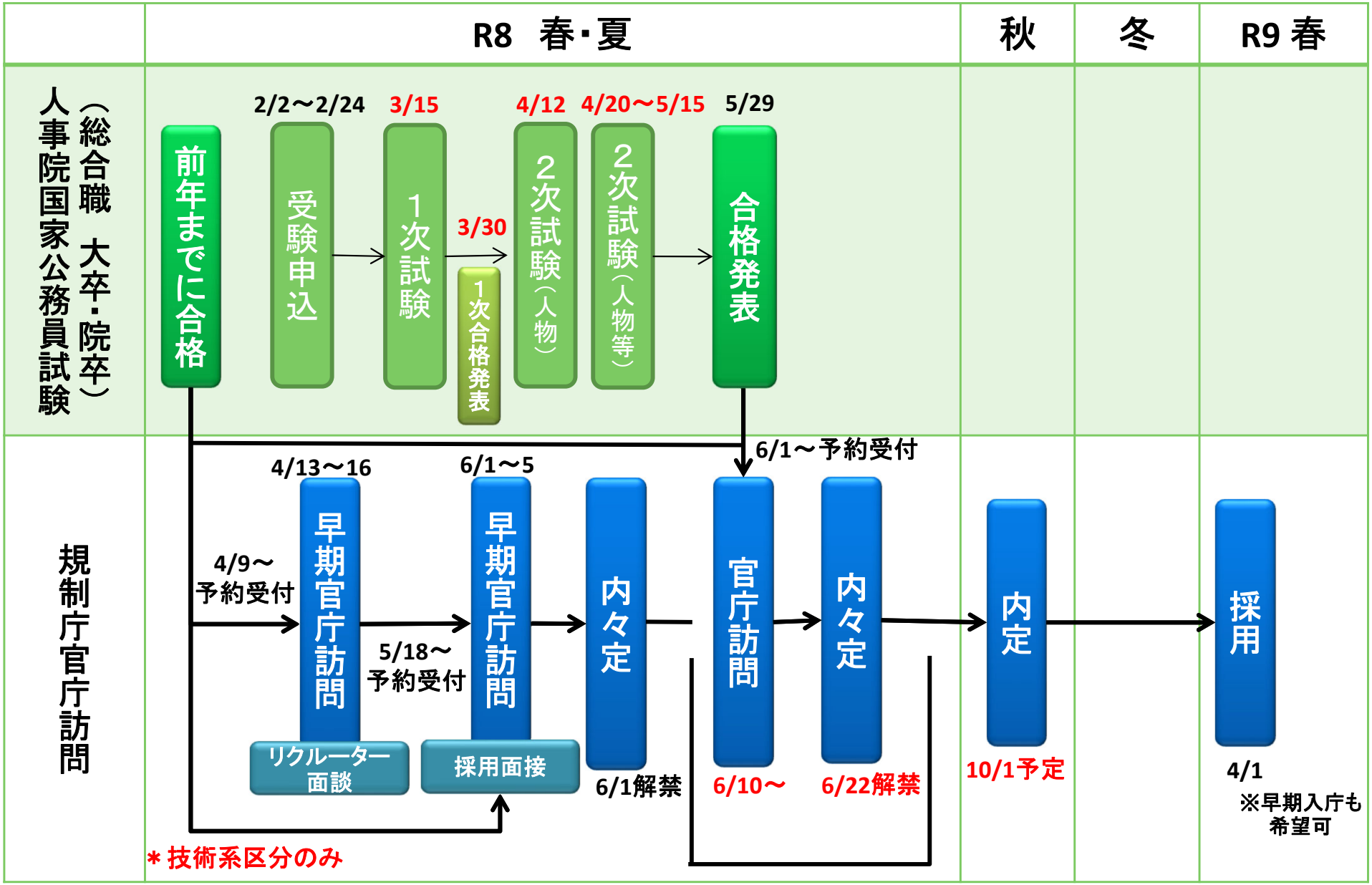
応募資格等（概要）※2

（１）大学院博士課程の修了要件を満たした者（見込みを含む。）
（２）大学院修士課程の終了要件を満たした者（見込みを含む。）で高度の研究業績を有するもの
（３）外国の博士課程において修業し（１）の修了要件と同等と認められる要件を満たした者（見込みを含む。）

※2　詳細は、原子力規制委員会採用ページをご確認ください。

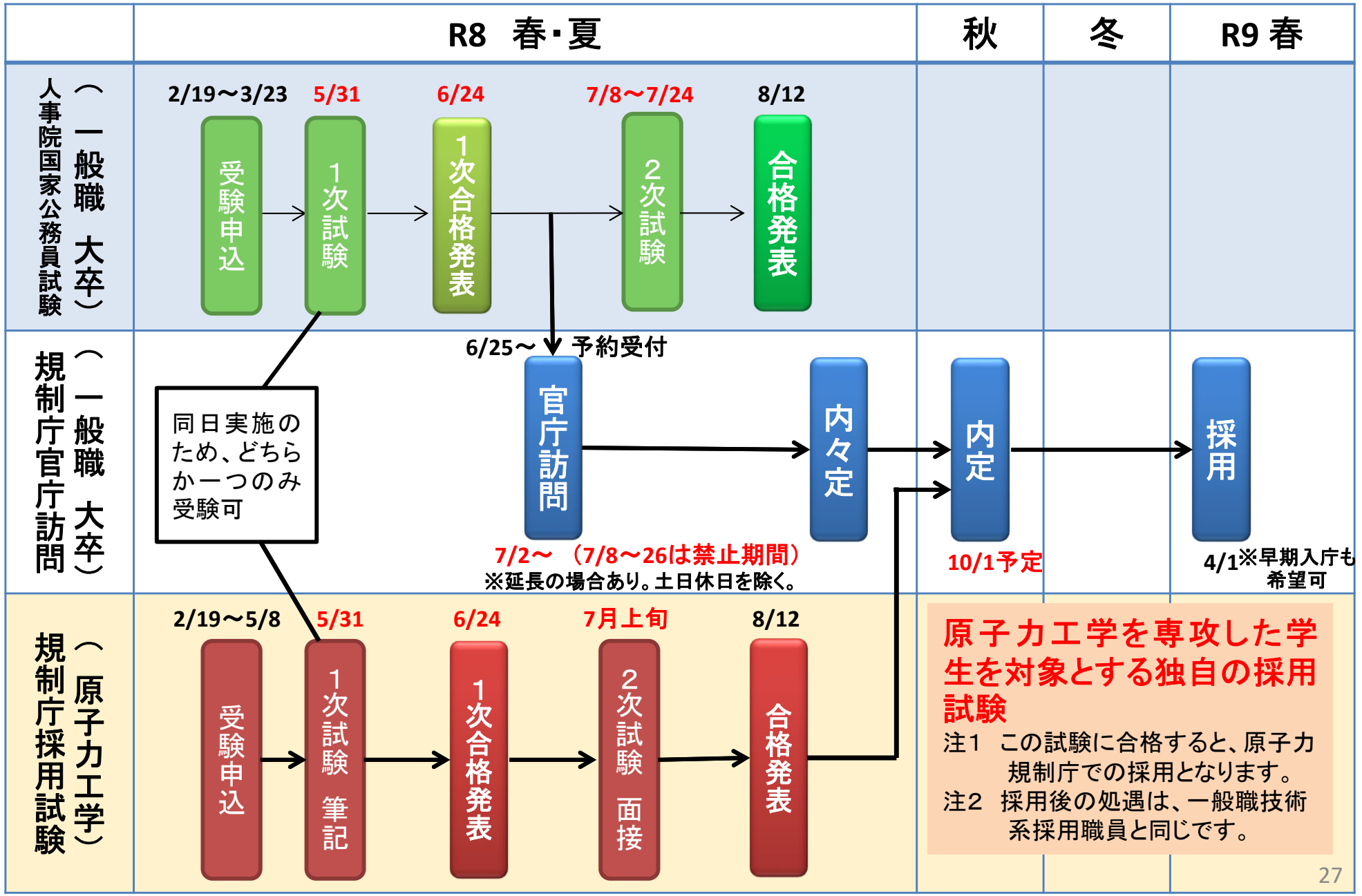
採用スケジュール（総合職）

※令和８年度実績



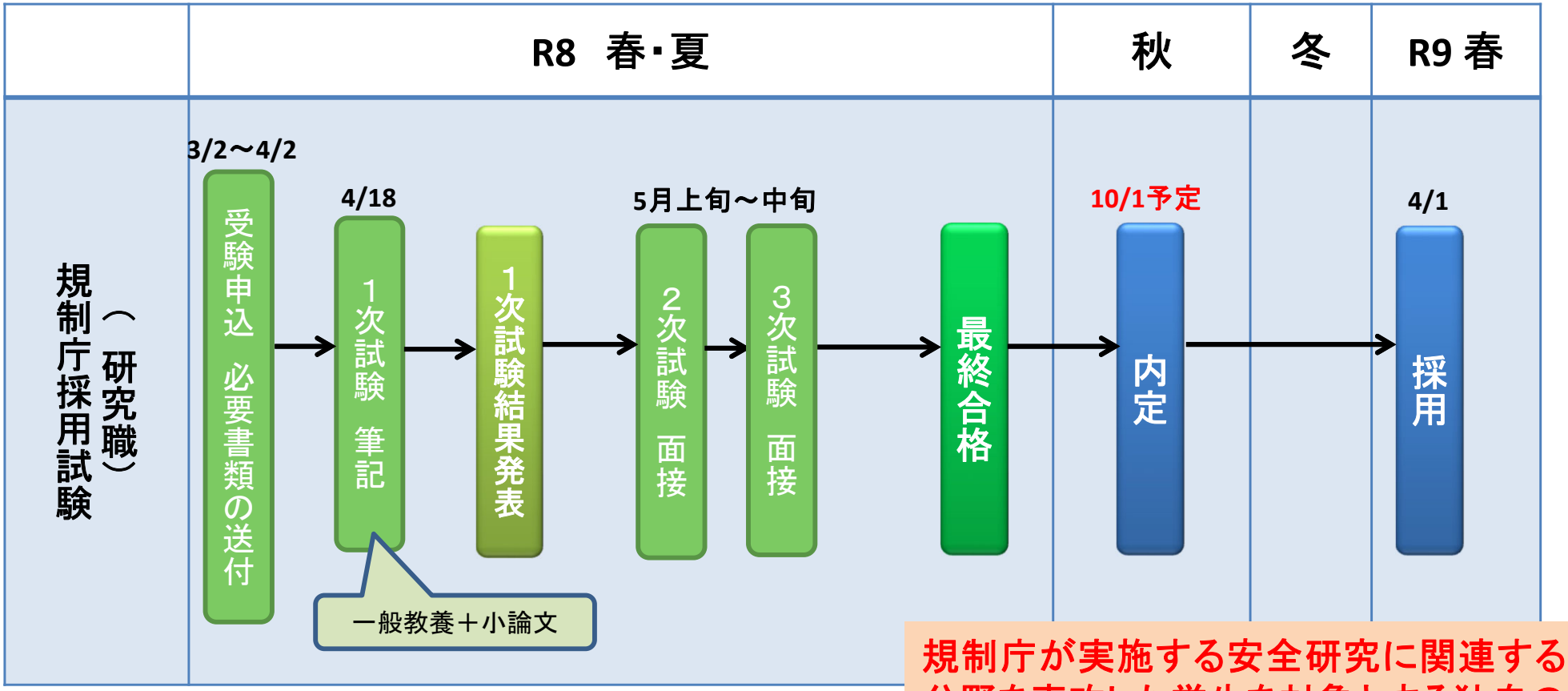
採用スケジュール（一般職）

※令和８年度実績



採用スケジュール（研究職）

※令和８年度実績



※最新の日程はホームページをご確認ください。

規制庁が実施する安全研究に関連する分野を専攻した学生を対象とする独自の採用試験

注）採用後の処遇は、研究職俸給表が適用されます。

採用実績

※総合職事務系は環境省人事グループで統合して採用　　（）内は、うち女性数

採用区分	対象試験	2023	2024	2025	2026
総合職 技術系	院卒者試験（全区分） 大卒程度試験（全区分）	5 (2)	2 (1)	3 (0)	3 (1)
一般職 技術系	大卒程度試験（技術系全区分）	11 (3)	10 (4)	5 (2)	9 (3)
	原子力工学系試験	2 (1)	2 (0)	4 (0)	4 (1)
	高卒者試験	2 (1)	0	0	0
一般職 事務系	大卒程度試験（行政）	7 (5)	8 (1)	9 (4)	9 (7)
	高卒者試験	10 (6)	13 (5)	5 (3)	5 (1)
研究職	選考採用	3 (0)	3 (1)	5 (2)	3 (0)

ご参加いただき、
ありがとうございました。